

総務文教委員会記録

令和3年3月17日（水）
10時56分～11時09分
全員協議会室

【委員】 西村委員長、芦谷副委員長
三浦委員、西川委員、上野委員、永見委員、西田委員、牛尾委員

【委員外】

【議長団】

【執行部・総務文教委員会 所管管理職】

久保田市長、砂川副市長
（総務部） 坂田総務部長、山根人事課長

【事務局】 下間書記

【議題】

1 同意第2号 浜田市教育委員会教育長の任命について

【議事の経過】

[10 時 56 分 開議]

西村委員長

ただいまから総務文教委員会を始める。出席委員は8名で定足数に達している。レジュメに沿って進める。先ほどの本会議で本委員会に付託された、市長提出議案1件の審査に入る。

なお、採決は、執行部退席後に行うので、よろしく願います。

1. 同意第2号 浜田市教育委員会教育長の任命について

三浦委員

これからの教育事業の重点施策を市長はどう考え、それに対してどういった理由で岡田部長が適任と考えたか。今回の推薦の経緯を説明してほしい。

市長

同意いただいた後、岡田さんとその辺の話し合いをしようと思っているので確定ではないが、私の思いを答弁する。

私は市長になった7年半前から、教育に力を入れると申し上げてきた。そのときに一つには学力向上。決して成績がよくなることだけではないが、保護者、あるいはいろいろな方から、浜田市内の子どもの学力向上に力を入れてほしいと言われてきた。これについては、石本教育長もやってきたが、まだまだという思いがあるため、新教育長にもそのあたり行政としてできること、これは当然、学校現場と一緒にやらないといけない。その辺について学力向上の方策について旗を振ってほしい。

もう一つは、ふるさと郷育。これも力を入れていきたい。これについては各学校現場で取り組んでもらっているが、ほぼ定着しつつあるのかと思っている。これについては、これまでも歴史文化保存展示施設の話の中でも、子どもたちにふるさとについてもっと知ってほしい、それが施設整備の理由の一つにもなっている。このふるさと郷育にもっと力を入れ、子どもたちが一旦外に出ても、またふるさとのことを応援したり、帰ってきたりするためにも、ふるさと郷育に力を入れたい。

そのほかにも教育現場はいろいろ課題がある。先生方の勤務状態が大変厳しいとかいろいろあるので、しっかり対応してほしいと思っている。

三浦委員

ふるさと郷育に市長が触れたが、これから協働のまちづくり推進条例が施行され、学校教育だけでなく、社会教育はこれから重要になってくる。このことは市長だけでなく、担当部長からも、教育長からも聞いている。社会教育部分について教育長に期待するところはどのような点か。

市長

ちょうど提案をさせてもらっている岡田さんは地域政策部長として、新しい協働のまちづくりの旗を振ってもらっている。したがって、今後新しいまちづくりセンター、現公民館であるが、ここを拠点としてまちづくりに取り組んでいかないといけない。まさにそういう意味では地域政策部で所管し担当していたことから適任であろうと思っている。今度の新教育長には教育サイドから、まちづくりセンターの皆と一緒にやって、地域の生涯学習、社会教育に加え、まちづくりについても教育委員会からサポートしていただき、一緒になって取り組んでいただきたい。まさにそういう旗振り役として適任である。

牛尾委員

教育委員会も学校統合、幼稚園の統合など懸案事項を抱えている。私は顔がかわり、政策の硬直感をそこからさらに進展する姿が見えないと、顔がかわっただけで終わってはいけないと思っている。例えば幼稚園にしても、我々議会側が望んでいる新園をもっと早くすべきということも含め、やはり市長部局から教育委員会への支援も含め、顔がかわったことが明らかに世間に見えるようになってほしい。そのあたりは期待してほしいか。

市長

当然、新教育長は、議会でいろいろ議員の皆さんから幼稚園の新園の話などさまざまな観点からこれまで聞いてきているところである。新しい目を見て、また旗を振ってくれるのではないかと思っている。そういう意味では議員の皆さんも期待されていると思うが、私も期待している。一緒になって取り組んでいきたい。

芦谷副委員長

教育振興に対する思いを聞いた。手続きについてだが、これから教育委員会ではどういった会合でこのことが話されるのか。

人事課長

手続きとしては、この同意案件としてご承認いただいた場合、最終的には市長が教育長を選任する形になる。今後、辞令等がある。その過程の中で教育委員会の方にも報告という形になるが、教育委員会の中で新たに決議を取るといった過程はない。当然、報告はする。

芦谷副委員長

市長も加わった総合教育会議がある。その会議ではどういった役割分担で進められるか。

市長

教育会議は私も参加し、一緒になってやっている。今後も新教育長を中心とした教育委員会、市長部局、タッグを組んでやっていく。子どもたちの教育の問題は、ともすればこれまで教育委員会にお任せということがあった。多くの自治体でそういう傾向があった。浜田市はいち早く市長部局がそれに関与するということで、現体制になった。

したがって、今後も一緒になって相談しながらタッグを組んでいきたい。やはり子どもたちの教育問題は市長部局も一緒に取り組まねばならない。特に子どもたちをサポートするのは教育の観点だけでなく、地域との問題もあるし、将来、子どもたちが大きくなった後に帰ってきて、地域を支えてほしい。こういった思いもある。したがって、教育委員会と市長部局がタッグを組んで力を入れていきたい。

芦谷副委員長

総合教育会議は年に何回あるのか。

市長

原則は年1回はやることになっているが、去年はコロナで開催が見送られた。コロナ禍ではあるが、新教育長になったら早々に会議を開きたい。

西村委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

西村委員長

では執行部は退席されて構わない。

《 執行部退席 》

西村委員長

では採決に入るがよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

○「同意第2号 浜田市教育委員会教育長の任命について」

本案は原案のとおり同意すべきものと決することに、ご異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

ご異議なしと認め、全会一致で原案のとおり同意すべきものと決した。

ただ今から委員長報告を作成するが、正副委員長一任ということによるしいか。

(「はい」という声あり)

それでは、正副で作成し、タブレット端末の委員長報告フォルダに入れるのでご確認をお願いします。

以上で総務文教委員会を終了する。

[11 時 09分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員長 西村 健 ⑩